

2026年度	前期	フラワービジネス学科	2年	フラワーショップ専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名		実務経験
	フラワーデッサン I			小松ゆかり		○
授業の種類	授業の方法〔講義／演習／実験・実習実技／その他（概要記載）〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	実験・実習・実技			1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

担当講師は、東京芸術大学絵画科修士課程を修了し、立川美術学院にて美術講師3年間、アートスクール美術講師2年間、絵画教室主催5年間、ギャラリーMキュレーターとして8年間の勤務経験を通じ、現在は油絵個人レッスン、受験絵画の個人レッスンを行っており、実務者の観点から絵画実技の指導、講義を行う。

☐ 授業科目の概要

実技により課題作品提出による授業を行う。課題に沿って描画いただき、足りない技術を加筆し体得していただく。
描画の基礎を元に自分のイメージが他者に分かりやすく伝わるように描ける事を目的とし、下記の課題を制作、提出いただきます。
イラスト的に素早く形や空間を把握し描く能力を強化していく。

☐ 授業の計画

週	項目	授業内容
1	花を描く	白描法にてペンで線を起す。。線を活かして描く方法を指導する。
2	ペン、水彩、色鉛筆	自然な色味で彩色していく、完成させて提出
3	フラワーベースを描く	没骨法によって花を描く、絵の具のにじみなどを利用する。色の混色を指導する。
4	水彩絵の具	光や立体感を強化し、完成させて提出。
5	建物を描く（城）	下絵を描く、構造の理解を促す。奥行きなどパースを正確に描く。
6	鉛筆、色鉛筆、水彩	彩色し、完成させて提出
7	静物画（輸入菓子）	輸入菓子などパッケージデザインを描く、細密に描画を線で描き彩色する。下絵資料配布
8	色鉛筆	レタリングなど正確に完成させて提出
9	人物のレイアウト	全身の人物写真資料を配布し、それを元に描く、コラージュする。 人体比率の説明。人物の資料を使う。
10	色鉛筆、水彩	人体が自然に描けているか、表現として魅力的かをチェックし、完成させて提出
11	マンガを使って描く	線描き、色の塗り方を指導
12	資料配布 ペン、水彩、色鉛筆	距離感や雰囲気を作る。完成させ提出
13	花屋を描く	花屋図版、もしくは携帯からデータを探して描く
14	水彩	魅力的な花屋が描けているかチェックし提出
15	建物を描く 水彩、色鉛筆。前期考査	淡い線描の図版に彩色提出。色彩表現による空間の描き分けが出来ているか。
16		

☐ 到達目標

課題の内容を理解し描画技術を向上させる。
基本的な形や空間の把握能力を向上させ、他者へのイメージの伝達の精度を上げていく。独自の描き方を確立させる。

☐ 成績評価の方法・基準

試験40％ 課題40％ 出席状況・授業態度20％
提出課題、試験の平均点から概ね評価するが、授業態度も加味し成績評価とする。試験当日の無断欠席は評価外とする。

2026年度	前期	フラワービジネス学科	2年	フラワーショップ専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名		実務経験
	キャリアデザイン			キャリアサポートセンター		
授業の種類	授業の方法（講義／演習／実験・実習実技／その他（概要記載））			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			1	2×15	週1コマ＝2時限×15週 週2コマ＝4時限×15週

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

☐ 授業科目の概要

1年後期からの準備を踏まえて、実際に就職活動を行っていく。学生一人一人が現在の自分の就職活動状況に合わせ活動を行い、個別の面談も並行して行っていく。時には企業を呼び説明会を行うなど、就職決定に向けた実践的な授業を行う。

☐ 授業の計画

週	項目	授業内容
1	就職対策講義	講義をしながら就職対策を実践的にしていく。企業に来ていただき説明をしていただく。
2	就職対策講義	講義をしながら就職対策を実践的にしていく。企業に来ていただき説明をしていただく。
3	就職対策講義	講義をしながら就職対策を実践的にしていく。企業に来ていただき説明をしていただく。
4	就職対策講義	講義をしながら就職対策を実践的にしていく。企業に来ていただき説明をしていただく。
5	就職対策講義	講義をしながら就職対策を実践的にしていく。企業に来ていただき説明をしていただく。
6	就職対策講義	講義をしながら就職対策を実践的にしていく。企業に来ていただき説明をしていただく。
7	就職対策講義	講義をしながら就職対策を実践的にしていく。企業に来ていただき説明をしていただく。
8	就職対策講義	講義をしながら就職対策を実践的にしていく。企業に来ていただき説明をしていただく。
9	就職対策講義	講義をしながら就職対策を実践的にしていく。企業に来ていただき説明をしていただく。
10	就職対策講義	講義をしながら就職対策を実践的にしていく。企業に来ていただき説明をしていただく。
11	就職対策講義	講義をしながら就職対策を実践的にしていく。企業に来ていただき説明をしていただく。
12	就職対策講義	講義をしながら就職対策を実践的にしていく。企業に来ていただき説明をしていただく。
13	就職対策講義	講義をしながら就職対策を実践的にしていく。企業に来ていただき説明をしていただく。
14	就職対策講義	講義をしながら就職対策を実践的にしていく。企業に来ていただき説明をしていただく。
15	就職対策講義	講義をしながら就職対策を実践的にしていく。企業に来ていただき説明をしていただく。
16		

☐ 到達目標

就職決定を到達目標とする

☐ 成績評価の方法・基準

試験00% 課題00% 出席状況・授業態度100%

2026年度	前期	フラワービジネス学科	2年	フラワーショップ専攻		
授業コード	授業科目名		担当講師名		実務経験	
	カラーデザイン		竹内美知子		○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考	
基本授業	講義・演習		1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ	

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

多岐にわたるインテリアコーディネートの仕事の中で、様々な色彩計画やプレゼンボード作成など実務の中で取り組んできました。

☐ 授業科目の概要

絵の具を用いた顕色を行い、単色と思われる色の中にも複数の隠れた色があることを知り、配色コーディネートをする時の知識とする。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	顕色	①配色カードと同じ色を絵の具の混色で作り出す。
2	顕色	②無彩色の顕色
3	顕色	③有彩色の顕色 →提出
4	課題1	「配色演習」 ①類似色相類似トーン配色
5	課題1	② 対照色相対照トーン配色
6	課題1	①デザイン作成， 着彩
7	課題1	② 着彩
8	課題1	③ 着彩
9	課題1	④ 着彩 → 提出
10	課題2	「商品パッケージ」作成
11	課題2	①コンセプト， デザイン 作成
12	課題2	② 着彩
13	課題2	③ 着彩
14	課題2	④ 着彩
15	前期考査	提出

☐ 到達目標

的確な配色コーディネートができる。

☐ 成績評価の方法・基準

課題 9 0 % 出席状況10%

2026年度	前期	フラワービジネス学科	2年	フラワーショップ専攻		
授業コード		授業科目名		担当講師名		実務経験
		フラワーイベントⅠ		原田泰行		○
授業の種類		授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考
基本授業		実験・実習・実技		1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

講師はフラワー業界のリーディングカンパニー等で15年以上商品制作・会場装飾・管理業務に携わってきた実績を保有し、実務経験者として講義を行う。

☐ 授業科目の概要

年間を通してフロリストが携わっていくイベント・催事における業務の理解を深め、商品や空間演出の企画・制作を軸に、グループワークを中心としたチームワークの大切さを学ぶ。

また、イベントごとにチョークアートを活用した看板制作を行うと共に、各種販促ツールの展開も学生に考えてもらう。商品・装飾展開が消費者・利用者の需要を踏まえた『ビジネス』であることを理解してもらう講義とする。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	授業概要説明～藤装飾企画	概要説明～桜装飾解体～藤装飾企画
2	藤装飾施工	藤装飾施工。花壇・観葉植物メンテナンス。
3	梅雨/初夏企画	初夏をイメージした装飾企画
4	梅雨/初夏プレゼン	初夏イメージのプレゼン
5	梅雨/初夏施工	初夏イメージの装飾施工
6	七夕企画	鉢植え、笹、コケなどを活用して装飾の企画提案。
7	七夕プレゼン	七夕庭園装飾のプレゼン
8	七夕装飾	七夕装飾施工
9	夏装飾企画	夏をイメージした装飾の企画
10	夏装飾プレゼン	夏装飾のプレゼン
11	夏装飾	夏装飾の施工
12	秋装飾企画	パンパス・ブドウを活用した装飾の企画。
13	秋装飾プレゼン	秋装飾のプレゼン
14	秋装飾	秋装飾の施工
15	ハロウィン装飾企画/考査レポート	ハロウィン装飾企画～レポート

☐ 到達目標

フロリストとしての季節空間表現の理解。考えて自主的に行動する力を身に付ける。

チームワーク、コミュニケーション重要性の理解。

☐ 成績評価の方法・基準

試験00％ 課題10％ 出席状況・授業態度90％

振り返りレポート、企画採用率、授業への向き合い方

2026年度	前期	フラワービジネス学科	2年	フラワーショップ専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名	実務経験	
	チョークアートⅢ			斉藤聡子・八木純子	○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	実験・実習・実技			1	2×15	2時限=90分=1コマ 4時限=120分=2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

（斉藤聡子）東京ホスピタリティアカデミー講師歴9年・チョークアーティスト協会講師

（八木純子）KANA ART STUDIOアシスタント歴5年（番組同行含む）チョークアーティスト協会講師

☐ 授業科目の概要

オーストラリア発祥のサインアート、チョークアートの基礎～応用技術の制作方法を実技で学ぶ。

二年生は前期に自分でデザインするオリジナルボードや後期の最後に全員で共同制作を完成させる。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	デザインイベント春	ベグルボード・ボード塗り・デザイン写し・色塗り
2	デザインイベント春	色塗り
3	デザインイベント春	ベグルボード・修正・デコレーション・スプレー
4	デザイン春植物	多肉植物ボード・ボード塗り・デザイン写し・色塗り
5	デザイン春植物	多肉植物ボード・色塗り
6	デザイン春植物	多肉植物ボード・修正・デコレーション・スプレー・次回準備
7	デザイン夏植物	朝顔ボード・ボード塗り・デザイン写し・色塗り
8	デザイン夏植物	朝顔修正・デコレーション・スプレー
9	オリジナルボード	自分で花を選びデザインを考える
10	オリジナルボード	ボード塗り・デザイン写し・色塗り
11	オリジナルボード	色塗り
12	オリジナルボード	修正・デコレーション・スプレー
13	ミニボード	アイスクリームボード・ボード塗り・デザイン写し・色塗り
14	ミニボード	アイスクリームボード・修正・デコレーション・スプレー
15	前期テスト	実技テスト

☐ 到達目標

☐ 成績評価の方法・基準

試験30% 課題00% 出席状況・授業態度70%

2026年度	前期	フラワービジネス学科	2年	フラワーショップ専攻		
授業コード		授業科目名		担当講師名		実務経験
		空間ディスプレイⅠ		正木修芳		○
授業の種類		授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考
基本授業		実験・実習・実技		2	4×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

フラワーイベント企画(会場レイアウト・ディスプレイ)28年

ショールームディスプレイ ブライダルも担当

☐ 授業科目の概要

デザインの基本を学び、さらに発想力・デザイン力を身につけさせる

独創性を引き出す

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	授業方針	目的 デザインとは
2	デザインの基本	デザインに必須な背景
3	季節について	季節の表現
4	イメージについて	イメージの表現方法
5	テーマ別デザイン	行事によるもの(日本)
6	テーマ別デザイン	行事によるもの(海外からのもの)
7	見学「ハンズ」	素材を見る
8	テーマ別デザイン	素材から考える
9	テーマ別デザイン	素材から考える
10	テーマ別デザイン	素材から考える
11	デザインの具現化について	
12	マテリアルについて	土台の工夫
13	環境に合わせる	
14	総まとめ	
15	前期考査	

☐ 到達目標

☐ 成績評価の方法・基準

試験50% 出席状況・授業態度50%

2026年度	前期	フラワービジネス学科	2年	フラワーショップ専攻		
授業コード		授業科目名		担当講師名		実務経験
		ギフトラッピング		正木博		○
授業の種類		授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕	単位数	時限×回数	備考	
基本授業		実験・実習・実技	1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ	

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

ラッピング協会、商業ラッピング協会登録講師。指導歴16年
自身のフラスクールやワークショップの講師として生徒を指導。

☐ 授業科目の概要

商業ラッピングの基本を学び、3級の資格取得を目指す

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	商業ラッピングの目的と技術	基礎知識(目的, 用語, 道具, 資材, 箱の組み方, カット方法), 歴史
2	合わせ包み	合わせ包み包み方, 紙取り, カットのしかた
3	合わせ包み	合わせ包み復習, 薄い箱の場合の包み方, リボンの基本(横一文字がけ)
4	斜め包み	リボンの表裏, 斜め包みの包み方
5	斜め包み	斜め包み復習, 包み上がりの違う斜め包み
6	斜め包み	斜め包み復習, リボの応用(斜め包み)
7	合わせ包み、斜め包み	今までの復習
8	ビン包み(合わせ包み、斜め包み)	ビンの包み方、包み方の練習
9	リボンテクニック	リボンテクニック
10	しきたりの基礎知識	しきたりの基礎知識、のし紙のかけ方
11	検定試験対策	検定試験対策
12	検定試験対策	検定試験対策
13	検定試験対策	検定試験対策
14	検定試験対策	検定試験対策
15	検定試験対策	検定試験対策

☐ 到達目標

商業ラッピング検定3級取得を目指す

☐ 成績評価の方法・基準

試験50% 課題00% 出席状況・授業態度50%

2026年度	前期	フラワービジネス学科	2年	フラワーショップ専攻		
授業コード		授業科目名		担当講師名		実務経験
		華道Ⅲ		正木修芳		○
授業の種類		授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考
基本授業		実験・実習・実技		3	6×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

華道指導歴40年以上
自身のフラスクールやカルチャーセンター講師として生徒を指導(資格授与可)

☐ 授業科目の概要

いけばなの基本の復習ともう一歩進んだ特殊なもの・変形・生花新風体を学ぶ
華道家元池坊「華掌」の資格取得を目指す

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	授業方針(復習)	授業計画・資格について 復習(自由花)
2	復習	生花の基本
3	生花(特殊なもの)	生花正風体(菖蒲)
4	生花(特殊なもの)	生花正風体(菖蒲)
5	生花(特殊なもの)	生花正風体(杜若)
6	生花	生花正風体変形(株分について)
7	生花	生花正風体三種生
8	生花	生花(正風体・新風体)
9	生花	生花(正風体・新風体)
10	生花	生花新風体
11	検定試験	
12	再試予備日	
13	自由花	
14	総まとめ	前期総まとめ
15	前期試験	学科・実技

☐ 到達目標

「華道家元池坊 華掌」取得

☐ 成績評価の方法・基準

試験50% 課題10% 出席状況・授業態度40%

2026年度	前期	フラワービジネス学科	2年	フラワーショップ専攻		
授業コード	授業科目名		担当講師名		実務経験	
	フラワー装飾技能士検定対策		中山 わかな		○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考	
基本授業	実験・実習・実技		1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ	

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

株式会社ランドフローラ（ハイアットリージェンシー装花室）に3年程勤務、その後花屋福太郎にてウェディング装花やイベント装飾、仕入等を学び、2010年10月にダブルニットクローバーを設立。ウェディングを中心に装花・仕入等の経験を活かした実習を行う。

☐ 授業科目の概要

自ら考えて制作できるよう実践的な実習を行う。季節に合わせた実習。その他商品提案の企画書作成等。
フラワー装飾技能士3級合格に向けて、技術と知識を身につける。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	授業説明・技能士実技説明	技能士の流れを理解する。
2	技能士（花束・アレンジ）	花束→ドームアレンジメント
3	技能士（ブトニア）	検定サイズのブトニア制作。
4	ナチュラルアレンジ実習	素材の動きを活かしたアレンジ、ラッピング。
5	技能士（花束・アレンジ）	花束→ドームアレンジメント
6	ホリゾンタル実習	季節花でホリゾンタル制作。
7	ティアドロップブーケ実習	ブーケホルダー使用のブーケ作製。
8	技能士（花束・アレンジ）	花束→ドームアレンジメント
9	技能士（花束・アレンジ）	花束→ドームアレンジメント
10	花冠実習	ワイヤリングのスピードをアップさせる
11	技能士全体確認	※ビツスボラム使用 花束（ループリボン）→ドームアレンジメント→ブトニア
12	技能士リハーサル最終	花束（ループリボン）→ドームアレンジメント→ブトニア（シートなども敷く、検定当日同様に）
13	バラメリア実習	メリアブーケの作製。注意点など。
14	前期考査	フラワー知識の筆記テスト、企画書テストを行う。
15	アートフラワーブーケ実習	パーツ作製（切り分け・ワイヤリング・テーピング）→ラウンドブーケの組み方を学ぶ

☐ 到達目標

実践的な実習で、スピードや技術、提案力を身につける。
フラワー装飾技能士合格。

☐ 成績評価の方法・基準

試験50% 課題25% 出席状況・授業態度25%
試験・課題・出席状況・授業態度を総合的に評価する。

2026年度	前期	フラワービジネス学科	2年	フラワーショップ専攻		
授業コード	授業科目名		担当講師名		実務経験	
	フラワーアレンジメントⅠ		中山 わかな		○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考	
基本授業	実験・実習・実技		2	4×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ	

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

株式会社ランドフローラ（ハイアットリージェンシー装花室）に3年程勤務、その後花屋福太郎にてウェディング装花やイベント装飾、仕入等を学び、2010年10月にダブルニットクローバーを設立。ウェディングを中心に装花・仕入等の経験を活かした実習を行う。

☐ 授業科目の概要

自ら考えて制作できるよう実戦的な実習を行う。季節に合わせた実習。その他商品提案の企画書作成等。
フラワー装飾技能士3級合格に向けて、技術と知識を身につける。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	授業説明・技能士実技説明	技能士の課題の花束、ドームアレンジメントの感覚をつかむ。（季節花使用）
2	企画書	母の日企画書下書き
3	企画書	母の日企画書清書
4	企画書	母の日企画書プレゼン。
5	過去問	学科試験対策（過去問）
6	技能士（ブトニア）	ブトニア・リボンを時間内に作製。
7	ブーケ仕上げ・ブトニア	ブーケホルダーのリボンや、ブーケとお揃いのブトニア作製
8	過去問	学科試験対策（過去問）
9	技能士（ブトニア）	ブトニア・リボンを時間内に作製。
10	花冠仕上げ・過去問	花冠完成させる・学科試験対策（過去問）
11	技能士全体確認	※ビツスボラム使用 花束（ループリボン）→ドームアレンジメント→ブトニア
12	技能士リハーサル最終	花束（ループリボン）→ドームアレンジメント→ブトニア（シートなども敷く、検定当日同様に）
13	バラメリア実習	バラメリアブーケのステム部分のリボンワーク等も含めて完成させる
14	前期考査	フラワー知識の筆記テスト、企画書テストを行う。
15	アートフラワーブーケ実習	ラウンド型の組み方を学ぶ・テスト返却、復習

☐ 到達目標

実戦的な実習で、スピードや技術、提案力を身につける。
フラワー装飾技能士合格。

☐ 成績評価の方法・基準

試験50% 課題25% 出席状況・授業態度25%
試験・課題・出席状況・授業態度を総合的に評価する。

2026年度	前期	フラワービジネス学科	2年	フラワーショップ専攻		
授業コード		授業科目名		担当講師名		実務経験
		フラワーイベントⅠ		原田泰行		○
授業の種類		授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考
基本授業		実験・実習・実技		1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

講師はフラワー業界のリーディングカンパニー等で15年以上商品制作・会場装飾・管理業務に携わってきた実績を保有し、実務経験者として講義を行う。

☐ 授業科目の概要

年間を通してフロアリストが携わっていくイベント・催事における業務の理解を深め、商品や空間演出の企画・制作を軸に、グループワークを中心としたチームワークの大切さを学ぶ。

また、イベントごとにチョークアートを活用した看板制作を行うと共に、各種販促ツールの展開も学生に考えてもらう。商品・装飾展開が消費者・利用者の需要を踏まえた『ビジネス』であることを理解してもらう講義とする。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	授業概要説明～藤装飾企画	概要説明～桜装飾解体～藤装飾企画
2	藤装飾施工	藤装飾施工。花壇・観葉植物メンテナンス。
3	梅雨/初夏企画	初夏をイメージした装飾企画
4	梅雨/初夏プレゼン	初夏イメージのプレゼン
5	梅雨/初夏施工	初夏イメージの装飾施工
6	七夕企画	鉢植え、笹、コケなどを活用して装飾の企画提案。
7	七夕プレゼン	七夕庭園装飾のプレゼン
8	七夕装飾	七夕装飾施工
9	夏装飾企画	夏をイメージした装飾の企画
10	夏装飾プレゼン	夏装飾のプレゼン
11	夏装飾	夏装飾の施工
12	秋装飾企画	パンパス・ブドウを活用した装飾の企画。
13	秋装飾プレゼン	秋装飾のプレゼン
14	秋装飾	秋装飾の施工
15	ハロウィン装飾企画/考査レポート	ハロウィン装飾企画～レポート

☐ 到達目標

フロアリストとしての季節空間表現の理解。考えて自主的に行動する力を身に付ける。
チームワーク、コミュニケーション重要性の理解。

☐ 成績評価の方法・基準

試験00％ 課題10％ 出席状況・授業態度90％
振り返りレポート、企画採用率、授業への向き合い方

2026年度	前期	フラワービジネス学科	2年	フラワーショップ専攻		
授業コード	授業科目名		担当講師名		実務経験	
	コンピュータ演習Ⅲ		草刈利枝子		○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考	
選択授業	講義・演習		1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ	

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

前職はPC周辺機器メーカーの広報に所属（約15年）し、WEB・紙媒体のデザイン&企画・運営を担当。

その他、パソコンスクールにてデザイン系のインストラクターのアルバイト経験あり（約10年）。

☐ 授業科目の概要

未取得のサーティファイ検定取得・ブラインドタッチ練習

Excel3級/Powerpoint初級/Word3級の資格取得を目指す

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	キーボード操作確認	ブラインドタッチ練習・文字入力基礎
2	Word基礎①	ブラインドタッチ練習・Wordの基本とシンプルな文書作成
3	Word基礎②	ブラインドタッチ練習・レイアウト編集と見やすい文書のデザイン
4	Word基礎③	ブラインドタッチ練習・表作成とグラフィックの活用
5	Word検定対策①	ブラインドタッチ練習・Word模擬問題（解説）
6	Word検定対策②	ブラインドタッチ練習・Word模擬問題（解説）
7	Word検定対策③	ブラインドタッチ練習・Word模擬問題（解説）
8	Word検定対策④	ブラインドタッチ練習・Word過去問題
9	Word検定対策⑤	ブラインドタッチ練習・Word過去問題
10	Word検定対策⑥	ブラインドタッチ練習・Word過去問題
11	Word検定対策⑦	ブラインドタッチ練習・Word過去問題
12	検定対策①	ブラインドタッチ練習・各自取得希望の模擬問題
13	検定対策②	ブラインドタッチ練習・各自取得希望の模擬問題
14	検定対策③	ブラインドタッチ練習・各自取得希望の模擬問題
15	期末考査	

☐ 到達目標

Excel3級/Powerpoint初級/Word3級レベルの知識習得

未取得のサーティファイ検定取得

☐ 成績評価の方法・基準

試験60% 課題10% 出席状況・授業態度30%

2026年度	前期	フラワービジネス学科	2年	フラワーショップ専攻		
授業コード	授業科目名		担当講師名		実務経験	
	Photoshop I		草刈利枝子		○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考	
選択授業	講義・演習		1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ	

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

前職はPC周辺機器メーカーの広報に所属（約15年）し、WEB・紙媒体のデザイン&企画・運営を担当。

その他、パソコンスクールにてデザイン系のインストラクターのアルバイト経験あり（約10年）。

☐ 授業科目の概要

Photoshop基本操作の習得

Photoshopを使用し写真加工・カード・チラシ・ポスターなど制作できる知識を身につける

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	Photoshop基本操作	色調補正／画像選択・移動
2	カード制作	ネームプレート用カードデザイン制作
3	メッセージカード制作	母の日用メッセージカード制作
4	Photoshop基本①	選択ツール（画像選択・移動）
5	Photoshop基本②	切り抜き・画像補正
6	Photoshop基本③	ブラシ・スタンプ・消しゴム
7	Photoshop基本④	文字・マスク
8	Photoshop基本⑤	レイヤー・マスク
9	Photoshop基本⑥	レイヤー操作（塗り絵）
10	塗り絵制作①	コンテスト応募用塗り絵制作①
11	塗り絵制作②	コンテスト応募用塗り絵制作②
12	塗り絵制作③	コンテスト応募用塗り絵仕上げ
13	ポストカード制作①	コンテストポストカード制作
14	ポストカード制作②	コンテストポストカード仕上げ
15	期末考査	

☐ 到達目標

Photoshopの基本操作レベル習得

☐ 成績評価の方法・基準

課題60% 出席状況・授業態度40%

2026年度	前期	フラワービジネス学科	2年	フラワーショップ専攻		
授業コード	授業科目名		担当講師名		実務経験	
	情報リテラシー		本山繁			
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考	
選択授業	講義・演習		2	4×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ	

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

☐ 授業科目の概要

オンデマンド配信による講義形式で授業を行う。講義内容は事前収録し、各学科・クラスのClassroom／Teams等を通して毎週配信し、学生は自宅等で視聴。
講義内容は配信後、一定期間再視聴できるように設定され、復習等に活用することができる。各回視聴後、内容確認のための小テストをGoogleフォームで行う。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	【0.1】はじめに 【1.1】社会で起きている変化	情報やデータについて学ぶ意義/ビッグデータ/検索エンジンとSNS/第4次産業革命/AIの発達とAIを支える技術/人間の知的活動とSociety 5.0
2	【1.2】社会で活用されている情報・データ	「データ」と「情報」の違い/データの種類/データの所有者/メタデータ/構造化データと非構造化データ/自動翻訳
3	【1.3】情報・データとAIの活用領域	バリューチェーン（value chain）とは/事業活動における情報・データ・AI活用の広がり/活用目的ごとの情報・データ・AI活用の広がり
4	【1.4】データ・AI利活用のための技術_1	日常の中でのデータ解析/さまざまなデータ解析 ― 予測・グルーピングとクラスターリング・発見/データ解析の関連項目/非構造化データ
5	【1.4】データ・AI利活用のための技術_2	データ可視化/パターン認識技術/人工知能
6	【1.5】データ・AI活用の現場 【1.6】データ・AI活用の最新動向	データ分析による意思決定/情報技術による自動化/データ分析・自動化の実際/組織的考慮点 AI等を活用した新しいビジネスモデル/AI最新技術の活用例
7	【2.1】データを「読む」	データの「種類」/データの「分布」と代表値/代表値の性質の違い/データの「ばらつき」/観測データに含まれる誤差の扱い/層別の必要なデータ/相関と因果性/母集団と標本抽出/クロス集計表、相関係数行列、散布図行列/統計情報の正しい理解
8	【2.2】データを「説明する」	データの「表現」/データの「図解表現」/データの「比較」/不適切なグラフ表現/優れた可視化の例/ケーススタディ
9	【2.3】データ・AIを扱う上での留意事項	ELSI（エルシー）/一般データ保護規制：GDPR/十分性認定/AI倫理/AI脅威論/ブラックボックス化/説明可能性/アカウンタビリティ/透明性/トラスト/公平性/データ・AIを扱う上での留意事項～負の事例(1)(2)
10	【2.4】情報デザインとユニバーサルデザイン 【2.5】データを守る上での留意事項	デザイン/情報デザイン/ユニバーサルデザイン データサイエンスにおけるセキュリティとプライバシー/データサイエンスと情報セキュリティ/データサイエンスとプライバシー
11	【3.1】デジタルトランスフォーメーション（DX）	デジタルトランスフォーメーション（DX）とは/デジタル後進国「日本」の現状/なぜ日本のDXは遅れているのか/企業のDXに必要な背景/DXにおけるデジタル（D）とは/DXにおける変革（X）とは/既存事業のカイゼン/DX/第4次産業革命の競争の原理/データドリブンで新しい競争の原理を満たす/DXレポートとは/DXを加速したコロナ禍
12	【3.2】アルゴリズムとは	アルゴリズムとは？/アルゴリズムの基本構造とフローチャート/アルゴリズムのデータ構造/身近にあるアルゴリズムの例/アルゴリズム的思考（プログラミング的思考）の重要性/アルゴリズム的思考（プログラミング的思考）に必要な4つの要素/アルゴリズムを活用するメリット/JEITA：一般社団法人電子情報技術産業協会 プログラミング体験ゲーム「アルゴリズム」
13	【3.3】アルゴリズム1：チャレンジ問題	アルゴリズム1：チャレンジ問題に、全問正解を目指して取り組む
14	【3.4】アルゴリズム2	アルゴリズム2に、全問正解を目指して取り組む
15	期末考査（オンライン）	

☐ 到達目標

情報リテラシーの基礎を身に付け、データサイエンスの基本概念を学び
AIを導入した実際の産業界の動向を知る

☐ 成績評価の方法・基準

各回の出席、小テスト内容、期末考査を総合的に評価する

2026年度	後期	フラワービジネス学科	2年	フラワーショップ専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名	実務経験	
	フラワーデッサンⅡ			小松ゆかり	○	
授業の種類	授業の方法〔講義／演習／実験・実習実技／その他（概要記載）〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	実験・実習・実技			1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

担当講師は、東京芸術大学絵画科修士課程を修了し、立川美術学院にて美術講師3年間、アートスクール美術講師2年間、絵画教室主催5年間、ギャラリーMキュレーターとして8年間の勤務経験を通じ、現在は油絵個人レッスン、受験絵画の個人レッスンを行っており、実務者の観点から絵画実技の指導、講義を行う。

☐ 授業科目の概要

実習、実技により課題作品提出による授業を行う。課題に沿って描画いただき、足りない技術を加筆し体得していただく。描き方や感じ方の説明、実演を通じてお手本にいただき、他者へ伝わる描画となるレベルを目指し提出作品に取りくんでもらう。自分の個性や美意識に着眼させ、職場においても自分の感性や美意識を仕事に活かして行けるように指導する。

☐ 授業の計画

週	項目	授業内容
1		建物の構造の理解、線描の出だしを指導。資料8種から選んでもらう。
2	建物を描く 色鉛筆、水彩	下絵から彩色を指導、空間感の描き方を指導する。
3		自然な空間感が出ているか確認し完成させて提出。
4	風景画、建物、花のある街並みを描く	線を活かして描き彩色、空間感の出し方、透視図的に形が狂わないように指導。
5	色鉛筆、水彩	奥行き出し方、光と影によって空間を表現していただく、完成させて提出。
6	花屋の早描きスケッチ1 色鉛筆、水彩	早描き、ドローイング、スケッチの指導。線画で描きだしてもらい、短時間で早描きできるように指導。提出。
7	風景画の水彩画、 (もしくはフラワーベース)	プリントに水彩で混色彩色をする。情景の設定をする。※前回の風景画の進捗を踏まえてフラワーベースに変更
8	水彩、色鉛筆	自然な光の表現を指導する。2回で完成し提出。
9	クリスマス装飾画 色鉛筆、水彩、	写真をコラージュして空間を広げ、装飾のイメージを作ってもらい。写真3種組み合わせもOK。アイデアの柔軟性を広げていただく。
10	ハサミ、のり	違和感のない空間感が出ているか確認し完成させて提出。
11	ボールペン画、	2図版をモチーフに、背景に自由に空間を設定してモチーフをボールペンで描く。
12	背景は水彩など	背景も含めて設定が違和感なく伝わるように仕上げる、完成させて提出。
13	室内空間を描写、 4種類から選ぶ	建築構造への理解を広げていただく。空間、セッティングなどの描写力の向上を促す。
14	色鉛筆、水彩	自然な室内空間が出ているかチェックし完成させて提出。
15	建物室内図のスケッチ画 後期考査	図版を元に複雑な空間や家具などをスケッチ風に描く。提出
16		

☐ 到達目標

課題の内容を理解し描画技術を修得すること。
個性や独自の感性を洗練させ、仕事場でのイメージ表現による描画による伝達能力の向上を目指す。限られた時間の中で効果的に描く力を付けていただく事を目標にする。

☐ 成績評価の方法・基準

試験40% 課題40% 出席状況・授業態度20%
提出課題、試験の平均点から概ね評価するが、授業態度も加味し成績評価とする。試験当日の無断欠席は評価外とする。

2026年度	後期	フラワービジネス学科	2年	フラワーショップ専攻		
授業コード	授業科目名		担当講師名		実務経験	
	コンピュータ演習Ⅳ		草刈利枝子		○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考	
基本授業	講義・演習		1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ	

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

前職はPC周辺機器メーカーの広報に所属（約15年）し、WEB・紙媒体のデザイン＆企画・運営を担当。

その他、パソコンスクールにてデザイン系のインストラクターのアルバイト経験あり（約10年）。

☐ 授業科目の概要

ブラインドタッチ習得、レポート・資料作成に必要な基礎能力を身に付ける

PowerPoint初・上級／Excel 3級／Illustrator初級／Photoshop初級レベルの技術習得

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	検定対策／資料制作	各自未取得資格の模擬問題／プレゼン資料作り（企業連携資料など）
2	検定対策／資料制作	各自未取得資格の模擬問題／プレゼン資料作り（企業連携資料など）
3	検定対策／資料制作	各自未取得資格の模擬問題／プレゼン資料作り（企業連携資料など）
4	検定対策＆復習	各自未取得資格・復習の模擬問題
5	検定対策＆復習	各自未取得資格・復習の模擬問題
6	検定対策＆復習	各自未取得資格・復習の模擬問題
7	検定対策＆復習	各自未取得資格・復習の模擬問題
8	検定対策＆復習	各自未取得資格・復習の模擬問題
9	検定対策＆復習	各自未取得資格・復習の過去問題
10	検定対策＆復習	各自未取得資格・復習の過去問題
11	検定対策＆復習	各自未取得資格・復習の過去問題
12	検定対策＆復習	各自未取得資格・復習の過去問題
13	検定対策＆復習	各自未取得資格・復習の過去問題
14	検定対策＆復習	各自未取得資格・復習の過去問題
15	期末考査	

☐ 到達目標

PowerPoint初・上級／Excel 3級／

Illustrator初級／Photoshop初級レベルの技術習得

☐ 成績評価の方法・基準

試験60％ 課題10％ 出席状況・授業態度30％

2026年度	後期	フラワービジネス学科	2年	フラワーショップ専攻		
授業コード	授業科目名		担当講師名		実務経験	
	インテリアデザイン		竹内美知子		○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考	
基本授業	講義・演習		1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ	

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

多岐にわたるインテリアコーディネートの仕事の中で、様々な色彩計画やプレゼンボード作成など実務の中で取り組んできました。

☐ 授業科目の概要

人が日常を送るインテリア空間において、「住空間」と「花」とのかかわり方を学ぶ。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	インテリア概論	西洋と日本のインテリア空間について
2	インテリアと花	暮らしの中の花 ①日本の花とインテリア
3		② "
4		③ 西洋の花とインテリア
5		④ "
6	花とテーブルコーディネート	テーブルコーディネートの基本 ①
7		" ②
8		センターピースとしての花の役割 他
9	リビング・ダイニングの家具について	家具の種類、配置 等について ①
10		" ②
11	インテリアスタイルについて	①スタイルとデザイン
12		②スタイルと色彩
13		<課題> スタイル分類 ①
14		スタイル分類 ② → 提出
15	後期期末試験	

☐ 到達目標

インテリアと「花」のかかわり方を理解し、トータルコーディネーションができる。

☐ 成績評価の方法・基準

試験 6 0 % 課題 3 0 % 出席状況 10 %

2026年度	後期	フラワービジネス学科	2年	フラワーショップ専攻		
授業コード		授業科目名		担当講師名		実務経験
		フラワーイベントⅡ		原田泰行		○
授業の種類		授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考
基本授業		実験・実習・実技		1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

講師はフラワー業界のリーディングカンパニー等で15年以上商品制作・会場装飾・管理業務に携わってきた実績を保有し、実務経験者として講義を行う。

☐ 授業科目の概要

年間を通してフローリストが携わっていくイベント・催事における業務の理解を深め、商品や空間演出の企画・制作を軸に、グループワークを中心としたチームワークの大切さを学ぶ。

また、イベントごとにチョークアートを活用した看板制作を行うと共に、各種販促ツールの展開も学生に考えてもらう。商品・装飾展開が消費者・利用者の需要を踏まえた『ビジネス』であることを理解してもらう講義とします。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	ハロウィン装飾施工	ハロウィン装飾施工
2	クリスマス装飾企画	クリスマス企画・デザイン・プレゼンテーション資料制作
3	クリスマス装飾プレゼンテーション	資料整理～プレゼンテーション
4	バルーン装飾・花壇植え替え	春の花に植え替え・バルーン装飾基礎
5	校外研修	季節の花見学・物づくり体験
6	クリスマス装飾施工	クリスマスツリーの制作
7	クリスマス装飾施工	クリスマスツリーの制作
8	正月装飾企画	正月企画立案・資料制作～プレゼンテーション
9	正月装飾プレゼンテーション	プレゼンテーション～花壇撤去
10	バレンタイン装飾企画	バレンタイン企画・デザイン・プレゼンテーション資料制作
11	バレンタイン装飾プレゼンテーション	資料整理～プレゼンテーション
12	バレンタイン装飾施工	バレンタイン装飾施工
13	桜装飾企画	桜企画・デザイン・プレゼンテーション資料制作
14	桜装飾プレゼンテーション	資料整理～プレゼンテーション
15	桜装飾施工＋振り返りレポート	桜装飾施工＋1年間を通しての振り返り

☐ 到達目標

フローリストとしての季節空間表現の理解。考えて自主的に行動する力を身に付ける。

チームワーク、コミュニケーション重要性の理解。

☐ 成績評価の方法・基準

試験00％ 課題10％ 出席状況・授業態度90％

振り返りレポート、企画採用率、授業への向き合い方

2026年度	後期	フラワービジネス学科	2年	フラワーショップ専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名		実務経験
	チョークアートⅣ			斉藤聡子・八木純子		○
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	実験・実習・実技			1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

（斉藤聡子）東京ホスピタリティアカデミー講師歴9年・チョークアーティスト協会講師

（八木純子）KANA ART STUDIOアシスタント歴5年（番組同行含む）チョークアーティスト協会講師

☐ 授業科目の概要

オーストラリア発祥のサインアート、チョークアートの基礎～応用技術の制作方法を実技で学ぶ。

二年生は前期に自分でデザインするオリジナルボードや後期の最後に全員で共同制作を完成させる。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	オリジナルボード	自分で描きたいモチーフを選びデザインを考える
2	オリジナルボード	ボード塗り・デザイン写し・色塗り
3	オリジナルボード	色塗り
4	オリジナルボード	色塗り
5	オリジナルボード	修正・デコレーション・スプレー・次回準備
6	デザイン冬イベント	椿ボード・ボード塗り・デザイン写し・色塗り
7	デザイン冬イベント	椿ボード・色塗り
8	デザイン冬イベント	椿ボード・修正・デコレーション・スプレー
9	デザイン冬植物	自分で花を選びデザインを考える
10	デザイン冬植物	ボード塗り・デザイン写し・色塗り
11	共同制作	自分の描きたい植物のデザインを考える
12	共同制作	デザイン写し
13	共同制作	色塗り
14	共同制作	色塗り
15	共同制作	修正・デコレーション・撮影

☐ 到達目標

☐ 成績評価の方法・基準

試験30% 課題00% 出席状況・授業態度70%

2026年度	後期	フラワービジネス学科	2年	フラワーショップ専攻		
授業コード		授業科目名		担当講師名		実務経験
		空間ディスプレイⅡ		正木修芳		○
授業の種類		授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考
基本授業		実験・実習・実技		2	4×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

フラワーイベント企画(会場レイアウト・ディスプレイ)28年

ショールームディスプレイ ブライダルも担当

☐ 授業科目の概要

基本をもとに豊かな発想力とデザインの力を身につける

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	作品展について	作品展に向けてテーマ等を決めていく
2	作品展について	作品展に向けてタイトル・レイアウトを決めていく
3	作品展について	作品展に向けてグループ・担当者等決めていく
4	フラワーデザインと発想法	発想方法「材料」から考える
5	デザインの発想法	「材料の変化」から考える
6	作品展準備	レイアウト・ポスター・パンフレットの制作
7	作品展準備	レイアウト実施・資材準備
8	作品展生込	作品展生込
9	デザインの発想法	「感情」から考える
10	デザインの発想法	「文化」から考える
11	デザインの発想法	「デザイン理論」から考える
12	デザインの発想法	「色彩」から考える
13	デザインの発想法	骨組み・土台を考える
14	総まとめ	今までの総まとめ
15	後期考査	後期考査

☐ 到達目標

☐ 成績評価の方法・基準

試験50% 出席状況・授業態度50%

2026年度	後期	フラワービジネス学科	2年	フラワーショップ専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名		実務経験
	フラワーラッピング			正木博		○
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	実験・実習・実技			1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

ラッピング協会、商業ラッピング協会登録講師。指導歴16年
自身のフラスクールやワークショップの講師として生徒を指導。

☐ 授業科目の概要

フラワーラッピングの基礎を学び、応用した包み方を学ぶ

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	フラワーラッピングについて	フラワーラッピングについて 一本包みについて
2	フラワーラッピング	花束の包み方 リボン結び
3	フラワーラッピング	花束の包み方 リボン結び
4	フラワーラッピング	花束の包み方 リボン結び
5	フラワーラッピング	花束の包み方 リボン結び
6	フラワーラッピング	花束の包み方 リボン結び
7	フラワーラッピング	花束の包み方 リボン結び
8	フラワーラッピング	花束の包み方 リボン結び
9	フラワーラッピング	花束の包み方 リボン結び
10	フラワーラッピング	花束の包み方 リボン結び
11	フラワーラッピング	花束の包み方 リボン結び
12	フラワーラッピング	アレンジメントの包み方
13	フラワーラッピング	鉢物ラッピング
14	フラワーラッピング	鉢物ラッピング
15	後期考查	後期考查

☐ 到達目標

☐ 成績評価の方法・基準

試験50% 出席状況・授業態度50%

2026年度	後期	フラワービジネス学科	2年	フラワーショップ専攻		
授業コード		授業科目名		担当講師名		実務経験
		華道Ⅳ		正木修芳		○
授業の種類		授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考
基本授業		実験・実習・実技		3	6×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

華道指導歴40年以上
自身のフラスクールやカルチャーセンター講師として生徒を指導(資格授与可)

☐ 授業科目の概要

基本からさらに上の技術を学ぶ
華道家元池坊「協教授三級」の資格取得を目指す

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	後期授業について・前期復習	後期授業について 生花
2	投入について	投入・鶴の巣使用
3	投入	枝で留める
4	投入	投入と自由花の違い
5	自由花	自由花
6	作品展準備	作品展試作
7	作品展準備	生込・準備・下生
8	作品展片付け	撤去・生花
9	生花(特殊なもの)	生花七種伝 水仙二本生
10	生花(特殊なもの)	生花正風体 水仙三本生
11	生花(特殊なもの)	生花正風体 水仙三本生
12	立花	立花について
13	自由花	異質素材との出会い
14	華道検定	華道検定
15	後期試験	学科・実技

☐ 到達目標

「華道家元池坊 協教授三級」取得

☐ 成績評価の方法・基準

試験50% 課題10% 出席状況・授業態度40%

2026年度	後期	フラワービジネス学科	2年	フラワーショップ専攻		
授業コード	授業科目名		担当講師名		実務経験	
	フラワーアレンジメントⅡ		中山 わかな		○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考	
基本授業	実験・実習・実技		1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ	

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

株式会社ランドフローラ（ハイアットリージェンシー装花室）に3年程勤務、その後花屋福太郎にてウェディング装花やイベント装飾、仕入等を学び、2010年10月にダブルニットクローバーを設立。ウェディングを中心に装花・仕入等の経験を活かした実習を行う。

☐ 授業科目の概要

自ら考えて制作できるよう実践的な実習を行う。季節に合わせた実習。その他商品提案の企画書作成等。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	プリザーブドフラワーギフトアレンジ実習	①原価計算をしながら、各自でプリザーブドフラワーのギフトアレンジを作製。②プリザーブドフラワーの商品企画書作成。
2	花屋シミュレーション&ホリゾンタル実習	店員と客に分かれて実践的な受注練習。その後、自分で金額計算しながら花材を選びホリゾンタルアレンジを作製する。
3	アートフラワーブーケ実習	ラウンドブーケの復習。セミカスケードのガーランド作製方法を学び、上部とのバランスを考えながら仕上げる。
4	クレセント&ホガース実習	三日月型アレンジメントを正確に作る。クレセントからホガース（S字）に作りかえる。
5	Xmasフレッシュリース&ミニツリースワッグ実習	フレッシュのヒムロスギやヒバ類を使用したリース制作。切り分け、ワイヤー使いを学ぶ。リースとおそろいのグリーン類でミニツリースワッグ等作製。
6	ユリを入れたブーケ実習	ユリを入れた時のバランスのとりにかたを身につける。ユリのブトニアも作製。
7	ツリーアレンジ&アドベントキャンドル&ボマnder実習	ツリー型のアレンジ制作。その後キャンドルアレンジ制作。姫リングとクローブを使用してボマnder作製。
8	クラッチブーケ&ブトニア実習	ナチュラル&ラウンドバージョンのクラッチブーケを組む練習をする。お揃いのブトニアを作製する。個人作品練り。
9	遺影サイドアレンジ⇒ギフトアレンジ実習	遺影サイドフラワーのスタンダードな形を作製。花材によってバランスを考える。その後ギフトアレンジに作り替える。
10	お正月輪飾り&BOXアレンジ実習	オリジナルの輪飾りを作製。アイテム選び、配置、装着の仕方を身につける。BOXアレンジは各自で花材選び、配置を考え、ギフト商品としての完成度を上げる。実習後、個人作品練り。
11	花屋シミュレーション	店員とお客役に分かれて実践的に花束を受注・作製する。実習後、個人作品練り。
12	後期考査	テスト + 個人作品企画書清書
13	個人作品制作&展示	それぞれ考えた作品を制作する。作品カードを記入し101へ展示。
14	ボールブーケ実習	360°ボール状に正確に形作る。花材選びの理解。
15	テスト返却・展示片付け・花束実習	テスト返却と復習。展示スペースの片付け後、最後花束実習。

☐ 到達目標

実践的な実習で、スピードや技術、提案力を身につける。

☐ 成績評価の方法・基準

試験50% 課題25% 出席状況・授業態度25%

試験・課題・出席状況・授業態度を総合的に評価する。

2026年度	後期	フラワービジネス学科	2年	フラワーショップ専攻		
授業コード	授業科目名		担当講師名		実務経験	
	フラワーアレンジメントⅡ		中山 わかな		○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考	
基本授業	実験・実習・実技		2	4×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ	

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

株式会社ランドフローラ（ハイアットリージェンシー装花室）に3年程勤務、その後花屋福太郎にてウェディング装花やイベント装飾、仕入等を学び、2010年10月にダブルニットクローバーを設立。ウェディングを中心に装花・仕入等の経験を活かした実習を行う。

☐ 授業科目の概要

自ら考えて制作できるよう実践的な実習を行う。季節に合わせた実習。その他商品提案の企画書作成等。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	プリザーブドフラワーギフトアレンジ実習	①原価計算をしながら、各自でプリザーブドフラワーのギフトアレンジを作製。②プリザーブドフラワーの商品企画書作成。
2	花屋シミュレーション&ホリゾンタル実習	店員と客に分かれて実践的な受注練習。その後、自分で金額計算しながら花材を選びホリゾンタルアレンジを作製する。
3	アートフラワーブーケ実習	ラウンドブーケの復習。セミカスケードのガーランド作製方法を学び、上部とのバランスを考えながら仕上げる。
4	クレセント&ホガース実習	三日月型アレンジメントを正確に作る。クレセントからホガース（S字）に作りかえる。
5	Xmasフレッシュリース&ミニツリースワッグ実習	フレッシュのヒムロスギやヒバ類を使用したリース制作。切り分け、ワイヤー使いを学ぶ。リースとおそろいのグリーン類でミニツリースワッグ等作製。
6	ユリを入れたブーケ実習	ユリを入れた時のバランスのと리카たを身につける。ユリのブトニアも作製。
7	ツリーアレンジ&アドベントキャンドル&ボマnder実習	ツリー型のアレンジ制作。その後キャンドルアレンジ制作。姫リングとクローブを使用してボマnder作製。
8	クラッチブーケ&ブトニア実習	ナチュラル&ラウンドバージョンのクラッチブーケを組む練習をする。お揃いのブトニアを作製する。個人作品練り。
9	遺影サイドアレンジ⇒ギフトアレンジ実習	遺影サイドフラワーのスタンダードな形を作製。花材によってバランスを考える。その後ギフトアレンジに作り替える。
10	お正月輪飾り&BOXアレンジ実習	オリジナルの輪飾りを作製。アイテム選び、配置、装着の仕方を身につける。BOXアレンジは各自で花材選び、配置を考え、ギフト商品としての完成度を上げる。実習後、個人作品練り。
11	花屋シミュレーション	店員とお客様役に分かれて実践的に花束を受注・作製する。実習後、個人作品練り。
12	後期考查	テスト + 個人作品企画書清書
13	個人作品制作&展示	それぞれ考えた作品を制作する。作品カードを記入し101へ展示。
14	ボールブーケ実習	360°ボール状に正確に形作る。花材選びの理解。
15	テスト返却・展示片付け・花束実習	テスト返却と復習。展示スペースの片付け後、最後花束実習。

☐ 到達目標

実践的な実習で、スピードや技術、提案力を身につける。

☐ 成績評価の方法・基準

試験50% 課題25% 出席状況・授業態度25%

試験・課題・出席状況・授業態度を総合的に評価する。

2026年度	後期	フラワービジネス学科	2年	フラワーショップ専攻		
授業コード		授業科目名		担当講師名		実務経験
		フラワーイベントⅡ		原田泰行		○
授業の種類		授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考
基本授業		実験・実習・実技		1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

講師はフラワー業界のリーディングカンパニー等で15年以上商品制作・会場装飾・管理業務に携わってきた実績を保有し、実務経験者として講義を行う。

☐ 授業科目の概要

年間を通してフローリストが携わっていくイベント・催事における業務の理解を深め、商品や空間演出の企画・制作を軸に、グループワークを中心としたチームワークの大切さを学ぶ。

また、イベントごとにチョークアートを活用した看板制作を行うと共に、各種販促ツールの展開も学生に考えてもらう。商品・装飾展開が消費者・利用者の需要を踏まえた『ビジネス』であることを理解してもらう講義とします。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	ハロウィン装飾施工	ハロウィン装飾施工
2	クリスマス装飾企画	クリスマス企画・デザイン・プレゼンテーション資料制作
3	クリスマス装飾プレゼンテーション	資料整理～プレゼンテーション
4	バルーン装飾・花壇植え替え	春の花に植え替え・バルーン装飾基礎
5	校外研修	季節の花見学・物づくり体験
6	クリスマス装飾施工	クリスマスツリーの制作
7	クリスマス装飾施工	クリスマスツリーの制作
8	正月装飾企画	正月企画立案・資料制作～プレゼンテーション
9	正月装飾プレゼンテーション	プレゼンテーション～花壇撤去
10	バレンタイン装飾企画	バレンタイン企画・デザイン・プレゼンテーション資料制作
11	バレンタイン装飾プレゼンテーション	資料整理～プレゼンテーション
12	バレンタイン装飾施工	バレンタイン装飾施工
13	桜装飾企画	桜企画・デザイン・プレゼンテーション資料制作
14	桜装飾プレゼンテーション	資料整理～プレゼンテーション
15	桜装飾施工＋振り返りレポート	桜装飾施工＋1年間を通しての振り返り

☐ 到達目標

フローリストとしての季節空間表現の理解。考えて自主的に行動する力を身に付ける。

チームワーク、コミュニケーション重要性の理解。

☐ 成績評価の方法・基準

試験00％ 課題10％ 出席状況・授業態度90％

振り返りレポート、企画採用率、授業への向き合い方

2026年度	後期	フラワービジネス学科	2年	フラワーショップ専攻		
授業コード	授業科目名		担当講師名		実務経験	
	PhotoshopⅡ		草刈利枝子		○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考	
選択授業	講義・演習		2	4×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ	

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

前職はPC周辺機器メーカーの広報に所属（約15年）し、WEB・紙媒体のデザイン&企画・運営を担当。

その他、パソコンスクールにてデザイン系のインストラクターのアルバイト経験あり（約10年）。

☐ 授業科目の概要

PhotoshopでWEBデザイン（バナー・ページ・GIFアニメ）の知識を習得

Photoshop & Illustratorを使用し冊子・カード・チラシ・ポスター・WEB素材など制作できる知識を身につける

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	イベントPOP制作	イベント用ポスター・POP制作（クロスオーバーサミット）
2	イベントPOP制作	イベント用ポスター・POP制作（クロスオーバーサミット）
3	イベントPOP制作	イベント用ポスター・POP制作（クロスオーバーサミット）
4	WEBデザイン①	バナー制作
5	WEBデザイン②	GIFアニメーション
6	花展関連POP制作	告知ポスター・パンフレット・Instagram告知画像・名前札制作①
7	花展関連POP制作	告知ポスター・パンフレット・Instagram告知画像・名前札制作②
8	花展関連POP制作	告知ポスター・パンフレット・Instagram告知画像・名前札制作③
9	WEBデザイン③	Amazonバナー制作（製品撮影含む）①
10	WEBデザイン④	Amazonバナー制作（製品撮影含む）②
11	冊子制作①	学科フォトアルバム制作（レイアウト案）
12	冊子制作②	学科フォトアルバム制作（写真撮影・収集）
13	冊子制作③	アルバム学科ページ制作
14	冊子制作④	アルバム学科ページ制作仕上げ
15	期末考査	

☐ 到達目標

Photoshop & Illustratorの基本操作レベル習得

☐ 成績評価の方法・基準

課題60% 出席状況・授業態度40%

2026年度	後期	フラワービジネス学科	2年	フラワーショップ専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名	実務経験	
	教養編AIリテラシー			本山繁		
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
選択授業	講義・演習			2	4×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

☐ 授業科目の概要

オンデマンド配信による講義形式で授業を行う。講義内容は事前収録し、各学科・クラスのClassroom／Teams等を通して毎週配信し、学生は自宅等で視聴。
講義内容は配信後、一定期間再視聴できるように設定され、復習等に活用することができる。各回視聴後、内容確認のための小テストをGoogleフォームで行う。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	教養編AIリテラシー（1）	AIとは／AIの定義／AIの分類／AI効果／AIとロボットの違い／AI研究の歴史／強いAIと弱いAI／特化型人工知能と汎用人工知能／
2	教養編AIリテラシー（2）	第1次AIブーム
3	教養編AIリテラシー（3）	第2次AIブーム／第3次AIブーム
4	教養編AIリテラシー（4）	AI分野の課題・関連知識
5	教養編AIリテラシー（5）	機械学習（マシンラーニング）-1：教師あり学習
6	教養編AIリテラシー（6）	機械学習（マシンラーニング）-2：教師なし学習／強化学習
7	教養編AIリテラシー（7）	機械学習（マシンラーニング）-3：機械学習の実践・Teachable Machine
8	教養編AIリテラシー（8）	深層学習（ディープラーニング）-1：ディープラーニングとは／多層パーセプトロン／オートエンコーダ／畳み込みニューラルネットワーク
9	教養編AIリテラシー（9）	深層学習（ディープラーニング）-2：敵対的生成ネットワーク／GPT／ファインチューニング／CPUとGPU／音声処理と自然言語処理
10	教養編AIリテラシー（10）	AIの産業への応用と知的財産・倫理-1：RPA／AIの社会実装に向けて
11	教養編AIリテラシー（11）	AIの産業への応用と知的財産・倫理-2：産業への応用
12	教養編AIリテラシー（12）	AIの産業への応用と知的財産・倫理-3：知的財産に関する法律／著作権法／特許法／不正競争防止法
13	教養編AIリテラシー（13）	基礎数学-1：順列／組合せ／事象の確率／確率の基本性質
14	教養編AIリテラシー（14）	基礎数学-2：代表値／相関／離散グラフ
15	期末考査（オンライン）	

☐ 到達目標

AIの概要・歴史について、機械学習の基本的なアルゴリズム、ニューラルネットワークの基本概念と原理、機械学習モデル（AI）の評価指標、基礎数学を理解する。

☐ 成績評価の方法・基準

試験30％ 課題30％ 出席状況・授業態度40％
各回の出席、小テスト内容、期末考査を総合的に評価する